



道徳教育だよ



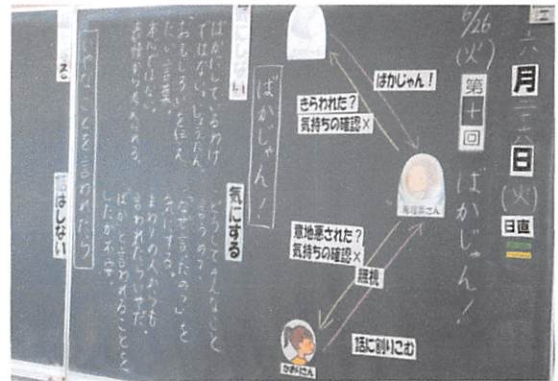
足利市立矢場川小学校
平成30年6月29日
平成30年度第4号

6月26日(火)に、1年1組、5年1組、6年1組で行った道徳の授業を職員全員で参観し、研究会を持ちました。今回は、「真の友情を育てるためにはどうしたらいいんだろう。」「友達と理解し合うためにはどうしたらいいんだろう。」と友情について考えた、6年生の授業についてお知らせします。

6年の授業「ばかじゃん」

高学年になると、「自分が相手にどう見られているか」を意識するあまり、自分の思いを相手に直接表現することが少なくなってきます。相手の状況や気持ちを考えるより先に、独断的に「自分は嫌われているかもしれない。」などと考え、落ち込んだり、相手を攻撃したりするところもあります。そして、他の友達と感情を共有しようとするのが、大人数で一人を攻撃するいじめにつながる場合もあります。

よりよい関係を築いていくためには、自分の思いや感情のみで行動するのではなく、相手の視点に立ったものの見方ができるようになることが大切です。



☆教材の内容について

主人公の恵理菜は転入した先の学校で、仲よくなった友達のきのちゃんから、「ばかじゃん!」と言われたことがきっかけで、「自分だけが嫌われているのではないか」と考えるようになってしまいます。ある日、以前にいた学校で仲たがいをしてしまったかおりに出会い、思い切って声をかけます。そして、次の日、恵理菜はきのちゃんに話しかけ、今回も誤解だったことがわかります。友達と互いに理解し、信頼し合うことが、真の友情を築くためには大切であることが分かるという話です。

教材について話し合う前と話し合った後に、『()と、友情が深まる。』の()に入る言葉を考えました。「分からないことがあったら教える。」から「相手と自分の気持ちを伝え合う。」と考えが変わったり、「一緒に遊ぶ」から「相手の気持ちを考える。」「友達と話したり、遊んだりする。」から「自分の気持ちを相手に伝える。」と考えが変わったりしました。教材を通して、友情についての考えを深めていました。

友達と友情を深めるために自分が大切にしたいこととして、「友達と友情を深めるためには、自分のいやなことは素直に話すことがいいと思います。友達だからこそ、素直に話せば気を付けてくれると思うからです。」「友情を深めていくために、相手の気持ちを考えながら言いたいことがあったら、正直に話すことが大切だと思います。正直に言えば相手ももしかしたら直してくれるかもしれないからです。」といった意見が出されました。

道徳の授業についてご意見・ご感想をお願いします。
きりとり
